

# 高温セット法による スギ心持ち平角材の乾燥技術

地域資源部



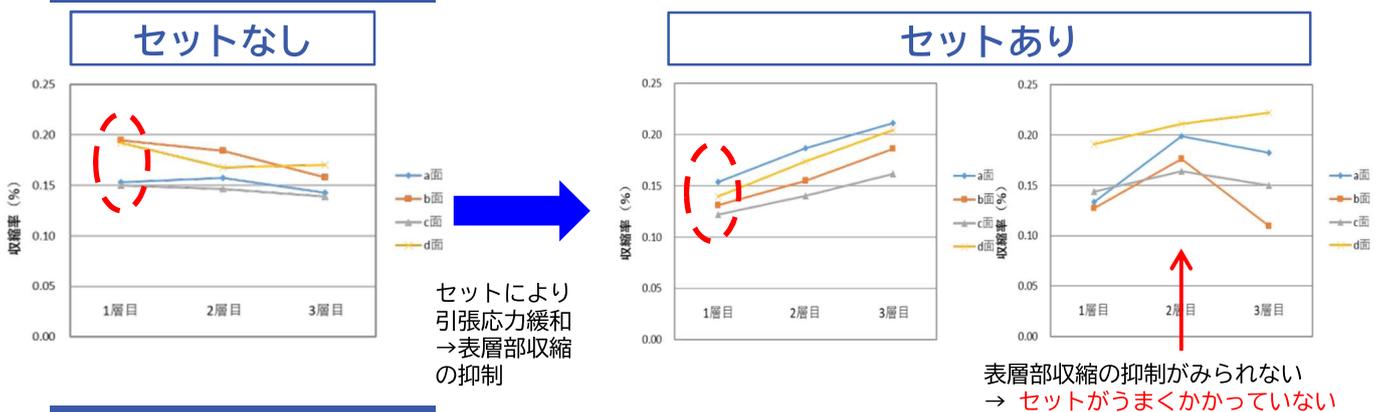
概要

木材乾燥の割れ防止技術として、高温低湿処理による高温セット法が広く利用されていますが、その後の本乾燥において乾燥割れが生じるケースがあります。本研究では、収縮率の測定によりセットのかかり具合を確認し、高含水率材はセットがうまくかからない可能性があることがわかりました。

高温セット法とは、高温中（100℃以上）で木材を軟化させ一気に表層部を乾燥させる方法（高温低湿乾燥）です。軟化状態にある木材の表層は伸び易くなり、引張応力が働いていてもこの力は小さくなり、割れの危険性が格段に少なくなります。

※長野県林業総合センター 技術情報 No.128  
「柱材の割れを防げ！高温セット法」より

## 収縮率測定



## 含水率分布測定



いちおし

含水率測定による高含水率材の仕分けを事前に行うことで、乾燥割れの防止や乾燥の効率化が期待できます。



キーワード

スギ、心持ち平角材、乾燥、高温セット、含水率、含水率分布

